

第28回がん体験共有会開催のご案内

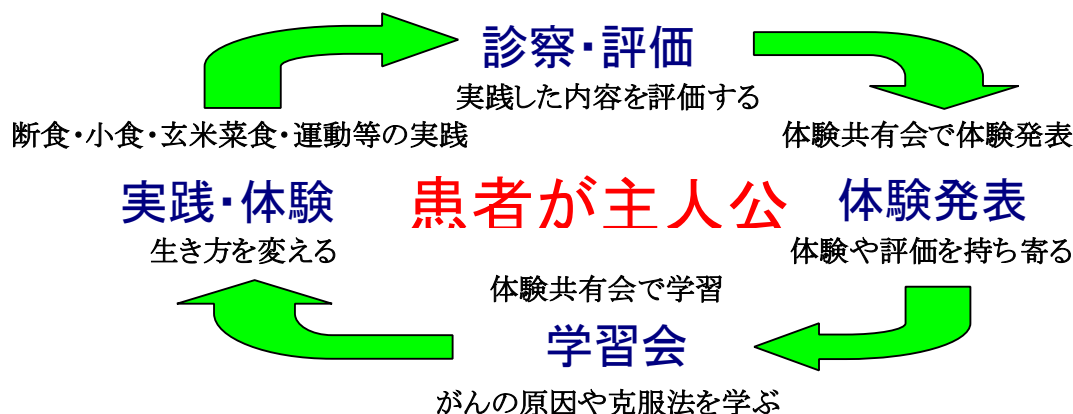
がんは生活習慣病。当会は自らの生活習慣・生き方を変えることによってがん克服を目指す人たちの学習会です。がん患者やその家族が毎月集まって下図のようにがんを克服した人の体験や、お互いの体験に学び合います。学んだことを実践体験し、その効果を医療機関で検査し、その結果を持ち寄って、会で発表・共有します。

その環を廻し続ける中で、自分に合ったがん克服法・生き方を見出そうという会が「がん体験共有会」です。がん患者やその家族であればどなたでも参加できます。

患者が主人公の医療の実現「がん体験共有会」

がんになっても安心して暮らせる社会を目指して

オーリングテストによる検査・サポート



- 開催日時 : 3月3日(月曜日)13:30~16:30
内容 : 学習 2時間 自己紹介・体験発表 1時間
開催場所 : 男女共同参画センター「アミカス」西鉄高宮駅構内
参加料 : 1000円 ・ 定員 50名(実習の時20名、要事前申込)
申込み先 : 会の世話人代表 山口(090-8835-5736)
参加資格 : がん患者又はその家族、世話役が認めたサポーター

※第28回例会のご案内

①日時:3月3日(金) 13:30~16:30、会場・参加料などは上記の通りです

②体験発表:13:30~16:00 発表者 久家浩明氏、ファスティングマイスター(断食指導士)

テーマ:断食の威力ー各種の断食療法を体験してー

私は西洋医学的には治療法の見つかっていない群発頭痛という病気を患っています。

群発頭痛とは【自殺頭痛】と言われ、痛みに耐え切れずに自殺者が多いためこの別名がつけられました。痛みは数値に表すことが出来ませんので、お伝えするのが難しいのですが、お産より痛いと言われてまして、三大痛(心筋梗塞・尿道結石)の一つと言われていました。

どうしても治まらない発作型の激痛を、民間療法のハシゴをして、5ヶ月間彷徨いました。

どうせ、ダメだろうと思いつつ断食道場に入院したら、3日目に発作が治まりました。

断食道場では、入院されていたがんなどの三大疾患の方が、病を克服している様を目の当たりにして、断食により自己治癒力が活性化されて、自分で作った病気は自分で治せることが分かりました。断食療法も色々あります。確立された方法や自己流も含めて、6種類の断食法を経験しました。入院しなければ出来ない療法もあれば、自宅で出来る断食法もあります。

断食指導士として数多くのがん患者さんを指導してきた経験を交えて、九州の断食施設とその療法のご紹介及び、その他の断食法とその特徴などご説明いたします。

③自己紹介・各自体験発表 16:00~16:30

がん体験共有会

世話人代表 山口勝己